

日・ブータン外交関係樹立40周年記念レセプション
中曽根副大臣ビデオ・メッセージ

御列席の皆様、クズザンポーラ（こんにちは）！外務副大臣の中曽根康隆でございます。

本日は、日ブータン外交関係樹立40周年記念レセプションにあたり、御挨拶申し上げます。この機会に、日ブータン関係の更なる強化のため、日頃から御尽力されている関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

日本とブータンは「ダショー西岡」による農業開発支援を皮切りに、相互の信頼と友情の下、協力を着実に拡大してきました。日本の皇室とブータン王室の温かな交流は両国民の絆の象徴であり、2011年の国王王妃両陛下の御訪日、特にその際の東日本大震災被災地への御訪問は、今も日本人の心に深く刻まれています。

この40周年の機会に、両国間の要人往来が更に活発化しており、大変嬉しく思います。ブータンからトブゲ首相等が訪日したのを皮切りに、日本からは三笠宮彬子女王殿下や国光あやの前外務副大臣がブータンを訪問しています。

日本は、保健医療や気候変動・防災対策、人材育成等を始めとする様々な分野において、地域に根差した協力を進めてまいりました。これからも、先人の志を次世代へ受け継ぐ決意です。また、「自由で開かれたインド太平洋」を実現すべく、ブータンと引き続き連携していく所存です。

人と人の交流は両国の未来を拓く力です。現在実施されている「ブータン日本週間」が、若い世代の往来・交流を強化するための一助となれば幸いです。

最後に、ブータンの一層の発展と、ブータン国民の皆様の御健勝・御多幸を心よりお祈り申し上げます。カディンチェラ（ありがとうございます）。

（了）